

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
 埼玉県川越市上寺山 216-1
 〒350-0826 TEL.049(227)5588
 星野学園小学校
 Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

平和宿泊学習を通しての学び

平成三十年五月十七日(木)から十九日(土)、六年生が「平和学習」をテーマとした二泊三日の宿泊学習に行ってきた。場所は、神戸と広島。小学校生活において、学年単独で行う宿泊学習としては、今回が最後となり、三つの「世界文化遺産」を中心に見学し、国際平和や歴史を学ぶ宿泊行事である。

平和宿泊学習を含め、全ての行事は普段の学校生活と繋がっている。子どもたちは普段の学校生活を活かして行



事に臨んでいる。また、子どもたちは、二日目に原爆ドームや平和記念公園・平和記念資料館を見学した。これからの時代を担う子どもたちは、過去の過ちを理

解し、戦争や原爆の恐ろしさ、悲惨さを知る必要がある。また、唯一の被爆国である日本に住む私たちは、知らなくてはならないことだ。なぜなら、戦争、そして被爆による惨禍の記憶を風化させてはならないからだ。平和記念公

園で、現代に生きる私たちが知っておかなければいけない、大切なことを学ぶことができた。

戦争、そして原爆の恐ろしさを学んだ子どもたちは、平和の大切さを改めて感じることができた。今回の平和宿泊学習を通して、自分なりの意見や考えをしっかりと持って、「平和」のために自分たちができることを真剣に考えることの大切さを学ぶことができた。(我喜屋)

六月六日、三年生五十七名は星野学園小学校を出発し、川越の街中を巡った。実際に歩き、自分の目や耳でその特色や歴史、文化を体験し学ぶ事がねらいである。

事前学習では、地図の読み方を勉強し、自分達が行くルートを確認できるようになった。また、川越の街並みについて、図書館の資料やパンフレットをもとに下調べをした。川越城や川越祭り、菓子屋横丁など、昔から今へ伝わる多くの文化や歴史について、各々が充実した調べ学習を行うことができた。社会

の授業では、歴史のある街のイメージを守る工夫について考察を行った。普通は赤いはずのポストは、蔵造りの街中では何色なのか。美容室や駐車場の看板、自動販売機はどんな装いをしているか。子ども達の自由な発想により、多くの予想が飛び出た。そして、街についての知識だけではなく、公道の歩き方や施設を利用する際の社会的なマナーについても、事前に確認を行った。

当日はあいにくの雨ではあったが、川越市立博物館や川越城本丸御殿、蔵造りの街並み、川越まつり会館を自分達の目で見確認することができた。博物館では学芸員さんから多くのお話を伺い、子ども達は熱心に耳を傾けてメモをとっていた。本丸御殿の軒下では、雨の音を感じながら黙想し、昔の生活、



川越の模型を見ながらお話を聞きました

川越めぐり

を皮切りに、景観を守るための工夫も目の当たりにした。行程の最後には菓子屋横丁へ行き、班ごとに相談しながら思い思いのお菓子を買うことができた。

昔ながらの街並みの中で、実際に買い物をするという経験に子ども達も大満足の様子であった。

見学中の子ども達も自分なりに吸収し、終始一生懸命にメモをとることができた。今後

は得た知識や体験したことを新聞やレポートにまとめ、学習した内容や自分の考えを整理していく。行動面では、五分前行動を意識して動くことができた。ふりかえりとして、学外での過ごし方についてどんなことができていたのか自分達でチェックを行い、夏の宿泊学習につながる学びとなつた。学校がある川越といばいに過ごしている。星野ドームがあるお蔭で本校では雨が降っても外遊びができる。



博物館の中を見学!

遊具場、図書室など、思い思いの場所で元気いっぱい過ごしている。星野ドームがあるお蔭で本校では雨が降っても外遊びができる。



1年生、星野ロックに登頂!

休み時間の過ごし方

本校には休み時間が二回ある。二、三時間目の間の二書室では、お友達と一緒に十分休みと、昼に読書を楽しむ子や、静業が終わると一む子など、実にさまざま目散に、外へ飛だ。

(飯田)



心を込めて折った千羽鶴。た、唯一の被爆国である日本に住む私たちは、知らなくてはならないことだ。なぜなら、戦争、そして被爆による惨禍の記憶を風化させてはならないからだ。平和記念公



ガイドさんの話を伺います

事前学習では、地図の読み方を勉強し、自分達が行くルートを確認できるようになった。また、川越の街並みについて、図書館の資料やパンフレットをもとに下調べをした。川越城や川越祭り、菓子屋横丁など、昔から今へ伝わる多くの文化や歴史について、各々が充実した調べ学習を行うことができた。社会

の授業では、歴史のある街のイメージを守る工夫について考察を行った。普通は赤いはずのポストは、蔵造りの街中では何色なのか。美容室や駐車場の看板、自動販売機はどんな装いをしているか。子ども達の自由な発想により、多くの予想が飛び出た。そして、街についての知識だけではなく、公道の歩き方や施設を利用する際の社会的なマナーについても、事前に確認を行った。

当日はあいにくの雨ではあったが、川越市立博物館や川越城本丸御殿、蔵造りの街並み、川越まつり会館を自分達の目で見確認することができた。博物館では学芸員さんから多くのお話を伺い、子ども達は熱心に耳を傾けてメモをとっていた。本丸御殿の軒下では、雨の音を感じながら黙想し、昔の生活、

遊具場、図書室など、思い思いの場所で元気いっぱい過ごしている。星野ドームがあるお蔭で本校では雨が降っても外遊びができる。

遊具場、図書室など、思い思いの場所で元気いっぱい過ごしている。星野ドームがあるお蔭で本校では雨が降っても外遊びができる。

(飯田)

一年生 春の遠足



うさぎを抱き、小さな命の重みを感じた

五月十六日(水)、一年生が初めての課外学習である春の遠足のため、埼玉県こども自然動物公園に向かった。事前学習を含め一年生は、主に三つのことについて授業で学び、練習をしてきた。

一つ目が、動物との接し方である。遠足中に一年生はふれあいコーナーで、うさぎやモルモットと実際に触れ合う機会を設けられた。そこでどのように動物と接してよいか、またどうすれば動物と仲良くなれるのかを学び、また自分自身で考えるきっかけを得た。子どもたちの中には、ぬいぐるみで行われた抱きかかえる練習を受け、うまくできた子もいれば、実際に触れるとなると怖がった。



歩くという経験も成長の糧となる

てしまう子どもなど様々な反応が見受けられた。しかし、どの子どもも皆、手のひらで小動物と触れ合ったことから、命の温かさや重みを感じることができた。これから生活で関わってくるどんな小さな命にも、今までは接し方が変わってくるはずだ。

二つ目が、綺麗に素早く列になることである。これは、学校内の教室移動などでも列になるため、日頃より練習していることでもあり、列に経験したことがないほど歩く、さらに公共施設で一般の方々の邪魔にならないようにするという条件があったため、今まで以外

学習となった。上を聞いた。当日は汗を流しながら子どもたちは公園内を散策した。その際も列を乱すことなく、また一般のお客様には道を譲る等、細かい配慮も一人一人が気を配りながら行うことができた。集団生活を行う中で、隊列を通じ、一人で生きているのではなく皆で協力し合い、お互いを高め合う心を成長させることができた。

最後に学んだことは、感謝の気持ちである。これも学校の方針として、挨拶や感謝など人間力の向上は日頃より行っていることだが、特に遠足のような非常日常体験の中では今まで以上に関わり合う人が多く、感謝を伝える気持ちが多かった。子どもたちは、公園まで送り迎えをしてくれたバスの運転手をはじめ、引率してくれた副校長先生、教頭先生、養護教諭や、お弁当を作ってくれた家族にもしっかりと感謝の気持ちを伝えることができた。



先生の指示をよく聞く子どもたち

「道徳の教科化」が挙げられる。本校では、本年度から移行措置期間に伴って、全学年、検定教科書を用いて授業に取り組んでおり、学期末には教員による評価が必須事項となる。教

に気を遣い事前に学習を行った。当日は汗を流しながら子どもたちは公園内を散策した。その際も列を乱すことなく、また一般のお客様には道を譲る等、細かい配慮も一人一人が気を配りながら行うことができた。集団生活を行う中で、隊列を通じ、一人で生きているのではなく皆で協力し合い、お互いを高め合う心を成長させることができた。

最後に学んだことは、感謝の気持ちである。これも学校の方針として、挨拶や感謝など人間力の向上は日頃より行っていることだが、特に遠足のような非常日常体験の中では今まで以上に関わり合う人が多く、感謝を伝える気持ちが多かった。子どもたちは、公園まで送り迎えをしてくれたバスの運転手をはじめ、引率してくれた副校長先生、教頭先生、養護教諭や、お弁当を作ってくれた家族にもしっかりと感謝の気持ちを伝えることができた。

子どもたちの制服が涼やかな夏服に変わった六月。星野学園小学校では、子どもたちが楽しみにしていたプール授業が始まった。一年生にとっては、初めてのプール授業である。危険のないように水深が自動で変えられる床や、随時水を濾過して綺麗にする設備を整えた当校の広いプールに、子どもたちの、早く入りたいと、うずうずする気持ちが伝わってきた。

しかし、プールはただ楽しいものではなく、一歩間違えてしまえば命を落としかねない危険な場所である。より一層「話

プール開き

二〇二〇年度から学習指導要領が改定される。その大きな変更点の一つに「道徳の教科化」が挙げられる。本校では、本年度から移行措置期間に伴って、全学年、検定教科書を用いて授業に取り組んでおり、学期末には教員による評価が必須事項となる。教

子どもたちの制服が涼やかな夏服に変わった六月。星野学園小学校では、子どもたちが楽しみにしていたプール授業が始まった。一年生にとっては、初めてのプール授業である。危険のないように水深が自動で変えられる床や、随時水を濾過して綺麗にする設備を整えた当校の広いプールに、子どもたちの、早く入りたいと、うずうずする気持ちが伝わってきた。

しかし、プールはただ楽しいものではなく、一歩間違えてしまえば命を落としかねない危険な場所である。より一層「話

子どもたちの制服が涼やかな夏服に変わった六月。星野学園小学校では、子どもたちが楽しみにしていたプール授業が始まった。一年生にとっては、初めてのプール授業である。危険のないように水深が自動で変えられる床や、随時水を濾過して綺麗にする設備を整えた当校の広いプールに、子どもたちの、早く入りたいと、うずうずする気持ちが伝わってきた。

しかし、プールはただ楽しいものではなく、一歩間違えてしまえば命を落としかねない危険な場所である。より一層「話

子どもたちの制服が涼やかな夏服に変わった六月。星野学園小学校では、子どもたちが楽しみにしていたプール授業が始まった。一年生にとっては、初めてのプール授業である。危険のないように水深が自動で変えられる床や、随時水を濾過して綺麗にする設備を整えた当校の広いプールに、子どもたちの、早く入りたいと、うずうずする気持ちが伝わってきた。

しかし、プールはただ楽しいものではなく、一歩間違えてしまえば命を落としかねない危険な場所である。より一層「話

道徳の教科化

二〇二〇年度から学習指導要領が改定される。その大きな変更点の一つに「道徳の教科化」が挙げられる。本校では、本年度から移行措置期間に伴って、全学年、検定教科書を用いて授業に取り組んでおり、学期末には教員による評価が必須事項となる。教

二〇二〇年度から学習指導要領が改定される。その大きな変更点の一つに「道徳の教科化」が挙げられる。本校では、本年度から移行措置期間に伴って、全学年、検定教科書を用いて授業に取り組んでおり、学期末には教員による評価が必須事項となる。教

二〇二〇年度から学習指導要領が改定される。その大きな変更点の一つに「道徳の教科化」が挙げられる。本校では、本年度から移行措置期間に伴って、全学年、検定教科書を用いて授業に取り組んでおり、学期末には教員による評価が必須事項となる。教



教科書を使いながら授業を展開される

教科書を使いながら授業を展開される。授業は「やマインツからの便り」の題材を扱い、他国の文化について理解し、日本人としての自覚をもつ

教科書を使いながら授業を展開される。授業は「やマインツからの便り」の題材を扱い、他国の文化について理解し、日本人としての自覚をもつ

教科書を使いながら授業を展開される。授業は「やマインツからの便り」の題材を扱い、他国の文化について理解し、日本人としての自覚をもつ

教科書を使いながら授業を展開される。授業は「やマインツからの便り」の題材を扱い、他国の文化について理解し、日本人としての自覚をもつ

教科書を使いながら授業を展開される。授業は「やマインツからの便り」の題材を扱い、他国の文化について理解し、日本人としての自覚をもつ

英語

第二回 新・星小の教科指導

五年生はニュージーランド修学旅行に向け、教科書の「ペル

五年生はニュージーランド修学旅行に向け、教科書の「ペル

五年生はニュージーランド修学旅行に向け、教科書の「ペル

五年生はニュージーランド修学旅行に向け、教科書の「ペル